

# 「やりたいたい時 全力で」

松浦さん  
琉大で講演 起業の魅力語る

「リクルートスーツを脱いで氷河を溶かせ」と題した社会起業と就職氷河期のキャリアの講義が22日、琉球大で始まり、音楽を通じた高校生向け社会教育プログラムに取り組みブラストビート共同代表の松浦貴昌さん(31)が「社会起業の魅力」を語った。26歳にインディーズバンドを脱退、

は若者の無気力や非行の解決につなげたいと、アイルランドの社会起業家ロバート・ステファン氏が立ち上げた社会起業家育成プログラム。



松浦貴昌さん

トビート

からだっ  
て遅くは  
ない」と  
話した。

ブラスト



起業と就職氷河期のキャリアの講義を聞く琉球大学の学生ら。22日、西原町の琉大

ラム。高校生が音楽プロデュース会社をつくり、社長や営業、バンドの発掘、企画、財務などの役割を担いながら、実際にコンサートを開催し、ビジネスとチームワークを学ぶ。収益の25%は慈善団体に寄付し、社会起業の精神を根底にしている。

活動は世界的に広がり、昨年ステファン氏の活動をテレビで見ても感銘を受けた松浦さんが「日本でぜひやりたい」と発奮、国内での活動開始に向け準備中だ。松浦さんは、若者にとって身近な音楽を題材に、ビジネスを体験できる教育プログラムを高校生に提供することで「自立・自律した考え方と思いやりを持ち、多様な価値観を共生し、自ら率先してより良い社会にしていくための行動を起こせる人材を輩出したい」と使命感を語った。